

東北を記憶する月間 ● シネマトーク

# 「家」という感覚

—世界の映画作家による3分11秒の作品から東日本大震災を思う—

3.11 A Sense of Home Films

映画作家

金峯山寺 執行長

対談 **河瀬直美** × **田中利典**

上映 **「3.11 A Sense of Home Films」**

世界の映画作家21人による短編映像集。河瀬直美氏がプロジェクトリーダー。(2011年作品)

2012 **3.10** 日 14:00-16:00

会場 三重県文化会館 レセプションルーム

共催 みえ災害ボランティア支援センター

協力 特定非営利活動法人なら国際映画祭実行委員会

入場無料  
申込先着  
200名様

三重県立図書館

# 「家」という感覚

—世界の映画作家による3分11秒の作品から東日本大震災を思う—

2011年3月11日の東日本大震災により、多くの人々が大切な家族、ふるさとを失いました。

このことをきっかけに、映画作家の河瀬直美氏は、家族やふるさとといった生活のよりどころとしての“Home”を改めて考えようと一つのプロジェクトをたちあげました。“Sense of Home”（「家」という感覚）をテーマに、世界中の映画作家から3分11秒の短編映像を紡いで生まれたのが、映画「3.11 A Sense of Home Films」です。

三重県立図書館では、県内で初めてこの映画を上映するとともに、河瀬直美監督と、映画を奉納上映した奈良県吉野の金峯山寺から田中利典執行長をお招きしてシネマトークを開催します。

震災から一年となるこの時期に、私たちにとっての「家」を考える機会になればと思います。

## プログラム

### 1 対談

河瀬直美氏（映画作家）

田中利典氏（金峯山寺 執行長）

### 2 映画「3.11 A Sense of Home Films」上映（75分）



河瀬直美 かわせ なおみ

奈良市生まれ。大阪写真（現ビジュアルアーツ）専門学校映画科卒業。劇場映画デビュー作「萌の朱雀」でカンヌ国際映画祭新人監督賞を史上最年少受賞。その後、「火垂」「沙羅双樹」「垂乳女」などで映画祭での受賞を重ねる。「殞の森」で2007年カンヌ国際映画祭グランプリを受賞。2011年、新作「朱花の月」を発表。「なら国際映画祭」ではエグゼクティブディレクターを務める。



田中利典 たなかりてん

京都府生まれ。龍谷大学文学部卒業、叡山学院専修科卒業、金峯山寺教学部長を経て、2001年金峯山修験本宗宗務総長、金峯山寺執行長に就任。このほか全日本仏教会評議員、日本山岳修験学会評議員なども務める。著書に「修験道っておもしろい!」「吉野薫風抄—修験道に想う」(以上白馬社)、「はじめての修験道」(春秋社・共著)、「熊野 神と仏」(原書房・共著) ほか。

## 申込制 (先着 200 名様)

シネマトークに入場をご希望の方は、下記の方法でお申し込みください。先着200名様をご招待します。お申し込みの際には、入場を希望される方のお名前、電話番号をお知らせください。なお、お申し込みが定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申込先(件名)：三重県立図書館「シネマトーク」係

インターネット ホームページのシネマトーク申込フォーム

電話 059-233-1181

FAX 059-233-1191

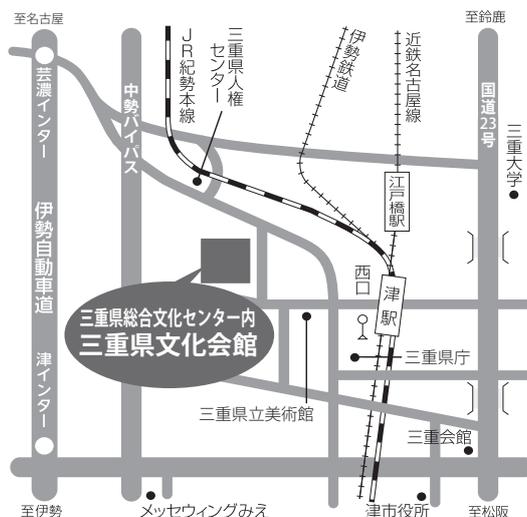
Eメール [mie-lib@library.pref.mie.jp](mailto:mie-lib@library.pref.mie.jp)

窓口 三重県立図書館カウンター

\*ご記入いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。



☎ 携帯電話からもお申し込みいただけます



### 交通のご案内

三重県総合文化センター 〒514-0061 津市一身田上津部田 1234

- 鉄道/近鉄・JR 津駅下車
  - バス/津駅西口から約5分
  - 徒歩/津駅西口から約20分
  - タクシー/津駅西口から約5分
  - 自家用車/伊勢自動車道津インターから約15分、芸濃インターから約15分
- \*工事のため、駐車場の一部が使用できません。できる限り公共交通機関のご利用をお願いします。